

2020年4月23日

新入生・在学生・ご家族のみなさまへ重要なお知らせ

福島学院大学／福島学院大学短期大学部  
学 長 桜 田 葉 子

### 2020年度（前期）遠隔授業実施についてお願い

4月7日に7都道府県に緊急事態宣言が発出され、その後、緊急事態宣言は全都道府県に拡大適応されました。新型コロナウイルス感染拡大への対応は、さまざまな方面で非常に深刻な状況になっていることはご存じの通りです。

大学も例外ではなく、現在、学生と教職員の安全確保のために、学生の登校禁止措置、教職員の在宅勤務などの対策を講じております。新入生・在学生・ご家族のみなさまには、授業開始についての十分な情報が届かず、大変不安に思われていることと同時に、現状へのご不満も感じられていることに対してお詫び申し上げます。

福島県にも緊急事態宣言が適応されて以降、大学での授業をどのようにすべきかについて検討を重ねてまいりました。学生のみなさんに通常通りのキャンパスライフを送っていただきたい気持ちは第一にありますが、感染拡大の先行きが見えない現状では、教室での授業は難しいとの結論に至りました。

キャンパス内でひとりの感染者が出た場合、大学は即閉鎖措置がとられ、その影響は広範に及びます。大学内での濃厚接触を回避し、本学がクラスターとならないために、他大学同様に遠隔授業による自宅での学習を実施することし、ご理解ご協力をお願い申し上げる次第です。

この未曾有の緊急事態を無事にやり過ごし、再び本来のキャンパスの状況を取り戻すために、学生とご家族のみなさまには重ねてのご理解、ご協力をお願い申し上げます。

遠隔授業の期間中、大学は全力を挙げて学生の修学を支援して参ります。

なお、本学の遠隔授業は2段階での実施を予定しています。

**第1段階：5月7日（木）～6月19日（金）は自宅~~で~~遠隔授業を受講してください**

第2段階：6月22日（月）以降も遠隔授業を継続するかは後日お知らせします

第2段階（6/22～）の授業方法については、緊急事態宣言の解除状況、および5月末までの福島県と隣県の感染拡大状況などから判断し、5月末を目途に改めて告知します。

## 遠隔授業について

本学では、キャンパスに登校できない期間（5/7～6/21）に、講義や演習など、それぞれの授業内容に適したいくつかの方法で遠隔授業を行います。

### <遠隔授業の方法①：オンライン型（同時双方向型）>

web 会議システム（Zoom や Webex など）を用いて、教員と受講学生全員がビデオ・音声通話でリアルタイムに接続する授業です。

(必要な器材) カメラとマイクを備えた「スマホ」または「パソコン」  
インターネット接続

(授業のイメージ)

教室で講義を聴くように、先生の話パソコンやスマホで聞きます。

15～20分ごと先生から簡単な課題やコメントペーパーが求められる場合もありますので、そのときは一旦通信を中断し、課題に取り組みます。

再びオンライン接続して質疑応答、意見交換などをおこない授業終了。

課題やレポートは、クラウドに提出（アップロード）します。

### <遠隔授業の方法②：オンデマンド型（非同期型）>

教員があらかじめ用意した授業動画／PDF／スライドなどの授業資料を、各自がダウンロードして学習を進める形式です。

(必要な器材) 「スマホ」または「パソコン」とインターネット接続

(授業のイメージ)

あらかじめ録画された授業動画／PDF／スライドなどが授業時間までにクラウドにアップされていますので、各自がスマホやパソコンでアクセスします。

それらの資料を参考に、指示された課題やレポートをクラウドに提出します。

教員への質問はメール等で送付すると、次回の授業資料に回答が掲載されます。

### ●実際の授業では、オンライン型とオンデマンド型を組み合わせることがあります。

例：事前に配布した問題に取り組み、自己採点してから、オンラインで解説を加える など

### ●資料や課題を郵送でやりとりする場合があります

例：「美術」の授業の場合

画用紙と課題説明資料を郵送→作品を完成させて大学に返送→オンラインで講評 など

### <遠隔授業の方法③ 課題研究型>

教員から提示された「課題」に取り組んでいく学習形式です。課題は授業シラバスに沿い、何コマ目の授業内容か解るようになっています。

(必要な器材) 教科書や課題ごとに示されます。質問や意見の共有のためには「スマホ」または「パソコン」が必要です。

(授業のイメージ)

本学ホームページの在学生専用ページに学科ごとに課題が提示されます。課題が出されている科目があればその「課題シート」にそって取り組んでください。提出や質問の方法も「課題シート」に明示されています。

(学習時間)

大学の授業は通常の授業でも「(授業時間) + (予習・復習時間)」で計算されています。講義科目なら「(授業2時間) + (予習・復習4時間) = 6時間」です。

課題シートに示された「標準学習時間」は大学の授業1コマ分に相当する「課題」として設定され、課題に取り組み、レポートを仕上げるための標準的な時間を表しています。

### 遠隔授業を受ける端末について

スマホでも十分に受講できますが、画面が大きいほうが資料を閲覧しやすいことから、パソコンやタブレットの利用を推奨します。

### 遠隔授業を受けるネットワーク環境について

遠隔授業では、ビデオ接続や資料ファイルの送受信で膨大な通信量となります。

(参考) オンライン型 (90分間常にビデオ接続すると、400~500MB程度)

オンデマンド型 (画像と音声を埋め込んだPDF資料は、1つあたり数10MB~)

オンライン授業導入に対応するため、スマホ大手3社は25歳以下のデータ通信料金を優遇する施策を打ち出していますが、可能な限り自宅にインターネット回線(フレッツ光やケーブルテレビ回線など)を整備していただくようお願い致します。

(各社の優遇施策はこちら \*4/23現在)

NTT ドコモ [https://www.nttdocomo.co.jp/info/notice/page/200403\\_00.html](https://www.nttdocomo.co.jp/info/notice/page/200403_00.html)

au <https://www.au.com/pr/u25support/>

sofubank・Y!モバイル [https://www.softbank.jp/corp/news/info/2020/20200403\\_01/](https://www.softbank.jp/corp/news/info/2020/20200403_01/)

※各社とも優遇期間は4/1~4/30。5月以降も延長されるかどうかは未定です。

### 端末やネット回線が無い学生へのサポートについて

端末やネット回線が用意できず、自宅で遠隔授業を受けることが困難な学生数について、現在各学科で調査中です。

具体的な対応（機器の貸し出しなど）は、後日お知らせします。

※学科・学年によって環境が違いますので、全ての学科、全ての科目で統一した遠隔授業を実施することはできません。学科や科目によって最適な遠隔授業を実施します。

(以上)